

船舶事故等調査報告書

平成24年6月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第23号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年2月13日（月） 02時00分ごろ	
発生場所	東京都御蔵島村御蔵島南東岸 御蔵島港ふ頭灯台から真方位139° 3.0海里付近 （概位 北緯33° 51.6′ 東経139° 37.6′）	
事故等調査の経過	平成24年2月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 ヨット <small>マーヴェリック</small> MAVERICK 2、5トン未満（長さ9.5m） 船舶番号、船舶所有者等 250-48192東京、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	全損	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、東京都八丈町神湊 ^{かみなと} 港から御蔵島西方沖を通過して東京都三宅村阿古港へ向かう予定で北北東進中、平成23年2月13日02時00分ごろ、御蔵島南東岸に乗り揚げた。 船長は、翌々日、海上保安庁のヘリコプターにより救助された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：波高 約1.5m、潮流 黒潮北東流約2ノット以上、潮汐 上げ潮の初期	
その他の事項	船長は、平成21年6月に東京を出航し、単独東回り世界一周航海の9割方を終えて東京に帰る途中であり、ふだんの航海であれば仮眠を取るところ、本事故当時は仮眠を取らずに航海していた。 本船は、マグネット式の船首方位のみを保持して航行する自動操舵装置を使用していた。 船長は、デッキ上でGPSや島影を見て針路を調整しながら操船していたが、本船の船位の変化にも御蔵島の島影にも気付かなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、御蔵島南東方沖を自動操舵により北北東進中、船長が適切な見張りを行っていなかったことから、御蔵島南東岸に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、御蔵島南東方沖を自動操舵により北北東進中、船長が適切な見張りを行っていなかったため、御蔵島南東岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船位の確認を適切に行うこと。	